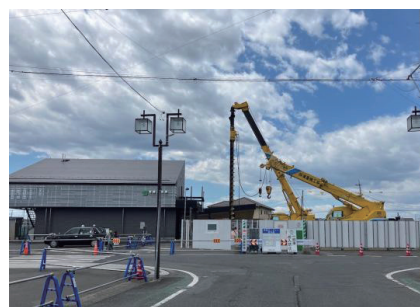


TOPICS①

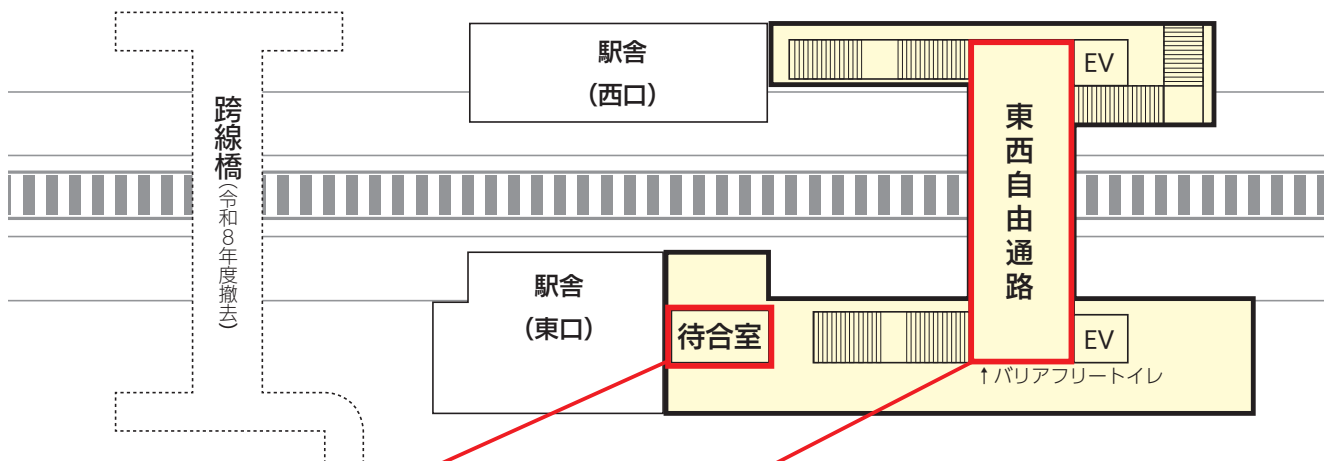
東西自由通路の整備を進めています

図 駅周辺整備推進課 ☎52-1111 (内線258)

令和8年3月の供用開始に向け、これまでの跨線橋に代わり駅の東西をつなぐ「東西自由通路」の整備を進めています。新たに車いす対応エレベーターやバリアフリートイレも設置予定で、駅を使う人はもちろん、誰もが利用しやすい通路になります。



▲東口から見た工事の様子。駅舎の北側に新しく東西自由通路ができます。

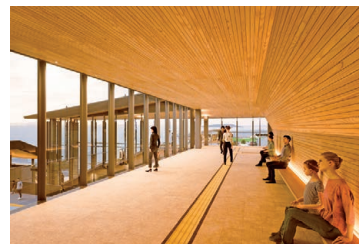


新しい待合室を整備

これまでの駅舎にあった待合室は、現在、東西自由通路とともに整備を進めており、新たな待合室が駅東口に出来上がる予定です。

天候に左右されずに利用できる通路

東西自由通路には屋根や窓で覆われ、天候に左右されずに駅東西を行き来できます。また、通路にはベンチを設置し、待合室以外にも屋内で座れるスペースが増えます。



TOPICS②

常陸大宮駅東口にテナントビルを建設予定

図 商工観光課 ☎52-1111 (内線274)

6月28日、常陸大宮市と株式会社住研企画は、「常陸大宮駅東口の土地利用に関する協定」を締結しました。この協定は、官民連携により、中心市街地の活性化や利便性向上を図る目的で、常陸大宮駅東口の県道318号沿いの土地にテナントビルを建設し、飲食店などを誘致するものです。鈴木市長は「駅周辺の賑わいを後押ししていきたい」と話し、株式会社住研企画の中野代表取締役は「人口減少に歯止めをかける手伝いをしたい」と話しました。



▲(右) 株式会社住研企画 中野穰二代表取締役

